

令和5年度（2023年度）農政部の主な重点取組事項

第6期北海道農業・農村振興推進計画（R3～7）

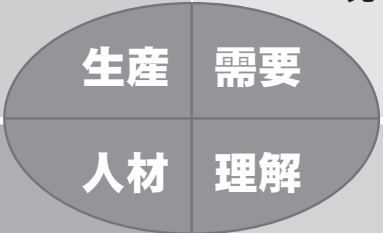
～多様な担い手と人材が輝く力強い北海道農業・農村をめざして～

持続可能で生産性が高い農業・農村

- ほ場の大区画化など生産基盤の整備
- 優良農地の確保・適正利用の推進
- 「ゼロカーボン北海道」や「みどりの食料システム戦略」の推進
- 環境保全型農業の推進
- スマート農業の推進
- 麦・大豆の国産化推進に向けた生産性向上や増産
- 経営体質強化に向けた牛群改良の加速化

国内外の需要を取り込む農業・農村

- 北海道米の消費拡大や道産日本酒のブランド力強化
- 北海道和牛の競争力強化とブランドの確立
- 道産農畜産物の輸出拡大に向けた商流の拡大と有望市場の開拓
- 6次産業化をはじめとする農山漁村発イノベーションの推進



多様な人材が活躍する農業・農村

- 次代の本道農業を担う多様な担い手の育成・確保
- 就農前の研修段階、就農直後の経営確立に向けた支援
- 担い手を支える多様な雇用人材の確保及び農福連携の推進
- 農業経営・企業連携サポート室による企業の農業参入と定着の推進

道民の理解に支えられる農業・農村

- 新顔作物の付加価値向上や利用促進に向けた普及啓発
- 食育の推進や「どさんこ愛食食べきり運動」の展開など、食品ロス対策の推進
- 農村地域の交流・関係人口の増加に向けた農村ツーリズムの受入体制の強化
- 農業・農村に対する道民の理解を深めるコンセンサスづくり

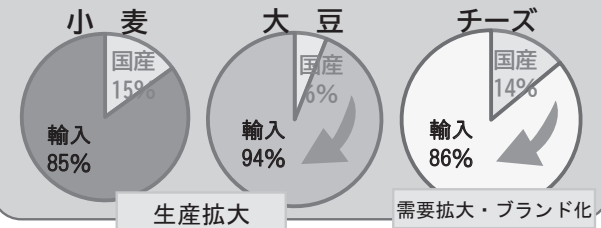
食料自給率の向上と食料安全保障の強化に最大限寄与する北海道農業

生産基盤の整備をはじめ、スマート農業の推進、麦・大豆の生産性の向上などに取り組み、全国の4分の1を占める北海道の農地をフル活用しながら、輸入依存穀物等を増産するなど、輸入から国産への置換えを促進

北海道の農地をフル活用



輸入から国産に置換えを進める品目



食料自給率の向上

世界の食料需給などを巡るリスクが顕在化する中、我が国最大の食料供給地域である北海道の国産供給熱量に占める寄与率を30.0%まで高めることにより、食料安全保障の強化に最大限寄与

